

今度は電装サプライヤの ISO26262 ASIL-D 認証取得支援を成功 ～東芝、パナソニックに続く新たな認証取得支援成果～

株式会社ヴィッツ（以下ヴィッツ）（www.witz-inc.co.jp）は、自動車電装部品サプライヤのアイシン精機株式会社（www.aisin.co.jp）と自動車電装部品ソフトウェア開発会社のアイシン・コムクルーズ株式会社（www.aisin-comcruise.com）の自動車向け機能安全規格 ISO26262 ソフトウェア開発プロセス認証取得支援を行い、両社は2012年12月に上記の認証を取得しました。

ヴィッツの上記認証取得支援は今回が2例目であり、2012年3月にも株式会社東芝、パナソニック株式会社（五十音順）の取得支援に成功しています（www.nikkei.com/article/DGXNASFK3000R_Q2A330C1000000/）。この認証はいずれもドイツの認証機関である TÜV SÜD 社から取得しています。

ISO26262 準拠が要求される傾向の欧州市場では、欧州自動車メーカー等への説明力強化手段として同プロセス認証の活用が見込まれます。ヴィッツは前述の認証取得成果や経験を活かし、機能安全認証を必要とする企業向けの支援サービスをさらに充実させ、短期間で認証取得を実現いたします。

ISO 26262 とは

機能安全規格は欧州が中心となり策定した安全規格であり、分野ごとに規定されています。

ISO26262 は、自動車向け電気/電子/プログラマブル装置を対象とする機能安全規格です。この規格は安全度水準 (ASIL; Automotive Safety Integrity Level) が4段階 (ASILA～ ASILD) に定められています。

機能安全規格では、製品の安全を担保する技術的な対策と安全を客観的に説明するエビデンスの作成が要求されています。すなわち「対象製品がなぜ安全を担保した製品であるかを客観的に説明する」「説明力」が重要になります。

国際市場において、安全に関する客観的説明力は今以上に重要となることが見込まれ、機能安全規格はその中核を担うと考えられています。

ISO26262 ソフトウェア開発プロセス認証 とは

自動車の安全性を担保するには、自動車メーカーのみで自動車全体の安全を保証することは困難です。自動車の構成部品は、各部品メーカーが安全を保証することが重要になります。

ISO26262 ソフトウェア開発プロセス認証は、取得した企業の“ソフトウェア開発プロセスが ISO26262 規格が要求する安全なソフトウェア開発活動が含まれており、かつ、ソフトウェア開発がプロセスに従い確実に実施できる企業”であることを独立した第三者機関（今回はドイツ TÜV SÜD 社）が認証するというスキームです。そのため、認証取得企業が機能安全認証済み開発プロセスに準拠し開発したソフトウェア製品は、ISO26262 が要求する安全度レベルを満たした製品であると主張することができます。これにより自動車メーカーはソフトウェアの受入検査において、ISO26262 の検証を大幅に削減することが可能となります。また、副次的な効果として、認証取得企業は、自社の開発能力が ISO26262 に準拠可能であることを国際市場で認知されることとなります。

名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授 高田広章 氏のコメント

この度、昨年に引き続いて2例目となる ISO26262 準拠のソフトウェア開発プロセス認証取得支援に成功されたことをお祝い申し上げます。今回認証を取得された企業は、国内有数の自動車部品サプライヤ企業と関連ソフトウェア企業であり、株式会社ヴィッツのような中小企業が取得支援を行い、それに成功したことは、特筆すべき成果であると評価しております。自動車関連分野の方々のご存知のように、自動車の電子制御の急激な普及に伴い、電子制御システムの安全性を向上させるとともに、その安全性を説明する能力が今まで以上に必要になってきております。ISO 26262 に対応するためには、規格で要求される技術手法を適用することによって、システムの安全性を説明するためのエビデ

ンスを、国際的に通用する形で作成しなければなりません。今回の成果は、我が国のものづくり産業の説明能力の強化に役立つものと期待しています。

また、今回の認証取得は、経済産業省の平成 18 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン）に、私が研究総括代表として提案・採択いただいたテーマの成果をベースとしたものです。研究総括代表としては、この事業の趣旨である、川上企業（中小企業）の技術力強化が川下企業（大企業）の下支えとなり、我が国の産業の国際競争力を維持・発展するという理想的な成果となったことに感謝しています。

株式会社ヴィッツには、引き続き、ものづくり企業に対する支援ビジネスに力を入れ、我が国のものづくり産業の競争力強化に貢献されることを期待しています。

株式会社ヴィッツ 代表取締役 脇田周爾のコメント

昨年の ISO 26262 認証取得支援につづき、今回は自動車電装関連企業の支援を行ない、無事認証取得に至りました。このような成果が報告できることは大変光栄であり、今後は同様の課題をお持ちの企業への支援を積極的にいき、多くの企業に機能安全関連分野で貢献できればと思っています。

弊社は 2010 年に IEC61508, 2012 年に ISO26262 のソフトウェア開発プロセス認証を取得し、その経験を元に認証取得支援を提供しております。また、産業機械、建機、鉄道など機能安全を必要とする幅広い分野への支援も行っており、近い将来にあらたな産業分野での成果の報告ができるのではないかと思います。引き続き、当分野での知識や経験を積極的に取り入れ、国内企業へのサービスを提供していきたいと考えております。

今回の成果は、経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業の研究成果を利活用しました。弊社のような中小企業がこのような成果をあげることができたのは、この研究支援事業に因るところが大きく、関係各位には心から感謝しております。

お問い合わせ先

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

株式会社ヴィッツ

総務部：安場、佐藤 （技術的内容；技術本部：服部、森川）

TEL: (052) 220-1218